

第4回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

◎日時 : 2018年12月13日(木) 10:00 - 12:00

◎会場 : 一般社団法人日本ライオンズ (東京・八重洲)

◎出席者 :

330 複合地区協議会議長	今井文彦 (副世話人)
331 複合地区協議会議長	石岡憲義
332 複合地区協議会議長	竹下直義
333 複合地区協議会議長	藤川清幸
334 複合地区協議会議長	藤弥一司
335 複合地区協議会議長	柿原勝彦 (副世話人)
336 複合地区協議会議長	太田健一
337 複合地区協議会議長	識名安信 (世話人)

国際理事 佐藤義雄

国際理事 安澤莊一

一般社団法人日本ライオンズ理事長 田中明

一般社団法人日本ライオンズ事務所所長 菅原雅雄

議事に先立ち、識名世話人より、諸問題が様々あるが先送りをせずに、今期で決めていきたい旨挨拶があり。また、本日の議案進行については一部順を変え、議長会と法人組織の整合性についての議案を最後に行い、午後は会則委員長連絡会議との合同会議において本件を慎重審議することが伝えられた。

佐藤国際理事挨拶

- ・オセアルの報告：多少の不手際があったが、ボランティアの活躍には感謝と共に学ぶことがあった。
- ・ミラノ国際大会について説明。日本の割り当てとして300室は予約済み。パレードは2000名の参加依頼がある。代議員参加者にはぜひ投票をしていただきたい。例年、日本の代議員登録者は半数程度しか投票していない現状がある。

安澤国際理事挨拶

- ・L渡部、L川島、両国際理事候補者がオセアルで推薦を受けた。両氏には日本、オセアルの代表として頑張っていたきたい。
- ・国際大会やオセアルの開会式、閉会式の短縮を検討している。

田中理事長挨拶

- ・ 8 複合と社団法人日本ライオンズとの整合性をしっかりまとめて新年を迎えたい。

議長協議に入る前に今井議長より、昨日開催された「2020 東京オリンピック・パラリンピック委員会」の最新報告があり。

- ・ オリ・パラ支援を各準地区へ必ず伝えていただきたい。
- ・ 支援選手のクラブ推薦者を地区は必ず把握してもらいたい。
- ・ 大会への競技者家族への宿泊支援を検討している。
- ・ レガシーとして時計台を設置、素材をコールテンコーバンにして長く親しんでいただく。
- ・ 日刊スポーツにライオンズの紹介記事を大きく取り上げてもらうので、是非定期購読を再度お願いしたい。
- ・ 昨年同様、(2019)次世代選手への支援事業の応募要項文書一式が配布され、内容を確認した。応募要項一式は各 MD・地区へ案内し、地区内クラブ宛必ず配信する(資料1)

前回議事録の報告

安倍総理大臣への第 65 回各複合と準地区の年次大会用挨拶を MD330 を通じてお願いしている。定型文として配信するので記念誌で活用していただきたい。

識名世話人から、GSTからの「丸ごとわかる糖尿病」の冊子送料の負担を議長会宛に依頼があった件について説明。既に昨年度の理事会を通じて冊子作成の報告があったようなので、本来は理事会に依頼すべき事項かと思われるが、日本ライオンズへの資金依頼は承認できない。全国GST会議で決定されたことなので、各 GST コーディネーターから複合へ依頼するのが良い。各複合で対処することを申し合わせる。

1. 第57回OSEALフォーラム（広島）

現時点での開催概要が同フォーラム委員会から入り、確認した。(資料A)

第57回フォーラムから日本からのステアリング委員は1名となり、識名議長世話人が日本代表として、2月20日に開催されるステアリング委員会に出席する。

2. LCIF キャンペーン 100 について

① LCIF キャンペーン 100 の周知徹底について

キャンペーン 100 について各クラブへ情報が伝わっていないことが考えられる。

A4 サイズ 1 枚のキャンペーン説明主旨を複合から準地区へ配信し、準地区からガバナー名で各クラブへ配信することを申し合わせた。伝え方の文案は複合で作成し、各クラブの理事会にかけていただく旨を記載する。説明主旨文案を至急各 MD へメール配信する。

②チャリティゴルフについて (資料 B)

- ・準地区で年次大会ゴルフを企画しているところが多い。それをLCIFキャンペーン100とタイアップして全国に発信してほしい。準地区の精鋭を集めて全国大会を実施する。

3. 全日本アラート委員会設置について

- ・柿原アラート委員長よりアラート委員会に関しての組織図と構成員に対しての案が説明された。各複合地区における構成員案に関しては各複合地区で次回会議までに検討して欲しい。他にアラートに関しての組織が複合組織とは別に独自で活動しているがこれまでの活動実績を参考にしながらアラート委員会の強化を図る。

4. 一般社団法人日本ライオンズと議長連絡会議との整合性について

- ・会員に社団法人に対する認識の差があるのではないか。
- ・今井議長より社団法人設立の経緯説明。
- ・333複合より社団の定款と複合会則に整合性が取れない問題点を指摘。
- ・330複合より、連絡会議は議決権のない組織のはずが、社団では議決権を有するようになっており、複合内でも反対意見が多い。
- ・ライオンズ必携に対する意見も多い。
- ・必携は参考書的なものという意見があるが、整合性の取れない部分の削除が必要ではないか。
- ・各議長に社団に対する認識をヒアリングした。

午後に行われる会則委員会と議長会の合同会議に臨む意見交換をして終了。

議事録作成人： MD333 議長 藤川 清幸